

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（5月分）

留学先大学：ホーチミン市外国語情報技術大学

氏名：佐藤 恵美

残りの留学生活 1 ヶ月をきり、授業は期末試験に向けて終わっていきました。私は 6 月に期末試験を受けます。それらに向けての勉強や準備が忙しいなと感じた 1 ヶ月です。会計学とミクロ経済学の期末試験はとても難しいと聞き、私は前回の中間試験があまりできなかったもので、今まで習った内容を何度も読み返して理解するようにしています。

平日は授業の予習や復習に追われていましたが、休日はゆっくり過ごすことができました。中旬ごろ、ベトナム人学生の家でケーキづくりをしました。生地から作ったので時間はかかりましたが、自分たちオリジナルのケーキが完成した時は達成感を感じました。生クリームは少し失敗して固めのクリームになりましたが、味は美味しかったです。

5 月下旬には、Can Gio という街へ行きました。ホーチミン市中心部からバイクで約 2 時間、途中で船に乗り川を渡りながら移動しました。中心部とは違って、バイクや人の数が少なく、木や川などの自然がたくさんありました。市場で買った海鮮料理を食べたり、ビーチでゆっくり休んだりしました。とても静かで普段とは違うのんびりとした時間を過ごすことができよかったです。



↑ベトナム人学生 3 人と Can Gio へ

ベトナムに来てから驚いたことがありました。一つはマスクを着けている人が多いことです。暑い中何故マスクを着けているのか、最初は疑問に思いましたが、その理由はいくつか分かりました。まず、バイク社会といえるほどバイクが多いベトナムでは、排気ガスが問題になっています。マスクをつける理由を聞いたら、多くの人がそう答えていました。次に、ベトナム南部のホーチミンでは、一年中日差しが強いため、日焼け対策が必要になります。女性は指先から足先まで服や布で肌を覆っています。さらに、道にごみがたくさん落ちていたり、たばこを吸っている人が多かったりと、それらのおいも気になりました。

また、ベトナムはコーヒーが有名だということは知っていたので、みんなコーヒーを飲んでいるかと思ったら、若い人の多くがミルクティーを飲んでいました。私が通っている大学の近くにはミルクティーのお店が少なくとも 5 軒以上あり、最近新たに 2 軒のお店ができま

した。ミルクティーを持ってきて、飲みながら授業を受けている学生をよく見ます。

ベトナム語の授業は引き続き受けています。来た頃は何を言っているのか全く分からず、言葉の壁に苦しんでいましたが、今ではほんの少し分かるようになってきて、自分が授業で学んだ単語を使って話すことができたのはとても嬉しかったです。結果がすぐに出なくてもあきらめてはいけない、ということをおぼたと思います。

帰国するまで残り僅かですが、最後の一日まで楽しみたいと思います。



←4月下旬にベトナムの中部地方へ行きました。写真はフエの歴史建造物です。世界遺産になっているフエには王朝時代の建物がいくつか残っています。それらを訪れたことは、ベトナムの歴史を学ぶ上でも役に立つと思いました。